【Ｒ１８】　会話形式ノベル

『突然ちっちゃくなった彼氏のカラダ』

～登場人物の会話と心の声～

作：七条右京

【登場人物】

・新堂由真（しんどう　ゆま）：彼女

・五島結信（ごとう　ゆうしん）：彼氏

私は新堂由真。

私の彼氏は、同じクラスの五島結信。

実は付き合って半年以上にもなるのに、まだＳＥＸをしてないんです。

それに私も結信も未経験。

そこで私達は、夏休みのいい思い出に、処女喪失・童貞喪失の温泉旅行を計画しました。

・・・

当日は、お昼頃に出発する電車に乗って、車内では駅弁を食べ、そしてお菓子を食べながらおしゃべりをし、楽しく過ごしました。

はしゃぎすぎたせいか、二人ともうたた寝をしてしまいました。

目的の駅の約４０分位前に目を覚ますと、私の

隣には、身長１１０センチ位の男の子が座って寝ていました。

私はその男の子を起こして声をかけました。

新堂由真：

「ねぇちょっとボク、起きてよ」

「お姉ちゃんの隣に座っていたお兄さん知らない？」

「それになんで、君がここで寝てるの？」

「ひょっとして何かのどっきり？」

五島結信：

「なあ由真、何バカな事言ってるんだよ」

「オレは、結信に決まってるじゃないかよ」